

1 単元の目標 (生活科 内容(6)「自然や物を使った遊び」)

身近な材料でつくった舟を水に浮かべて遊ぶ活動を通して、身の回りの物を利用した遊びの面白さや、浮かんだり動いたりする舟の様子に気付くとともに、自ら試行錯誤を繰り返してつくり上げてすすんで遊びをつくり出すことができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①身近な物を使って、舟をつくることに必要な材料・道具・用具を準備し、工夫してつくろうとしている。 ②舟をつくる際に、必要な道具の準備や片付け、整理整頓をしている。 ③舟づくりや、自分でつくった舟遊びにいろいろな楽しみ方があることに気付いている。	①比べたり試したりしながら舟のできる遊びを楽しんでいる。 ②つくり方や遊び方の工夫を自分なりに考えたり、振り返ったりしたことを言葉や絵などに表現している。	①動く舟をつくりたいという願いをもち、友達のよさを取り入れたり、自分との違いを生かしたりしながら、粘り強く舟づくりに取り組もうとしている。 ②季節の特徴を見付け、身の回りのものを使って生活を楽しくできることを実感し、自らの生活をより豊かにしようとしている。

3 ものづくり教育の視点

本単元は、児童がこれまでの経験を生かしたり季節の特徴に気付いたりする中で、舟というものづくりに挑戦する単元である。また、身近にある物を工夫して使ったりつくったりすると、浮かべたり動いたりする材料があることに気づき、自らの力で遊び、物をつくり出す喜びと達成感のもてる単元でもある。とくに児童が、舟をもっと動かしたいという意欲がよりもてるよう、友達と見合っただ遊べるようにと場作り、グループ作りに配慮し、個と個の関わりが自然にもてるように考えた。「ものづくり教育」の視点としては、舟をつくる体験を通して、ものをつくる楽しさ・試行錯誤する楽しさ・友達と一緒にものをつくって遊ぶ楽しさこそが土台となると考えている。

4 単元の指導計画

	○主な学習活動・児童の反応	◇評価 ・留意点
1	<b>【動く舟を見てみよう。つくってみたいな。】</b> ○動く舟を見て、舟づくりに関心や意欲をもつ。 ・ペットボトルを使って舟をつくってみたい。 ・どうして舟が動くのかな。	・手づくりの舟を実際に目の前で動かし、どのように舟が動いているのか、気付くことで、舟づくりへの意欲を高める。 <b>◇思① (発言・活動)</b>
2	<b>【動く舟の材料やつくり方はどうなっているの。】</b> ○動く舟をつくるためには、どのような材料が必要か、具体的な見通しをもつ。 ・水に浮かぶものって何だろう。 ・プロペラは牛乳パックでつくってみよう。	・舟に使えそうな素材を想起しやすいように、いくつか例を提示する。(牛乳パック、食品トレイ、ペットボトルなど) <b>◇知②思① (ワークシート・発言)</b>
3	<b>【動く舟をつくって遊ぼう。】</b>	
4	○動力別(風、空気、ゴム)に動く舟をつくる。 ・うちわを使って風の力で動く舟をつくるぞ。 ・風船を膨らませて動く舟をつくりたいな。 ・輪ゴムと割りばしを使って、プロペラをつくってみよう。	・科学的な見方の素地となるように、動力別につくるようにする。 ・教室前に「お助けコーナー」として、材料、道具、見本を置いておく。 <b>◇知①② (活動・作品)</b>
5	○色々と試しながら、更に動く舟をつくらう。	・友達同士で互いのつくり方を参考にしたり、アドバイスしたりできるように、互いの舟を紹介する時間を設ける。
6	・友達のいいところを真似したいな。 ・うちわで扇いでも進まないのはどうしてかな。 帆を大きくつくり直してみよう。 ・違う動力も組み合わせしてみようかな。	<b>◇主①思① (活動・作品)</b>

7 本時 8	<p>○つくった舟を水に浮かべ、動くかどうか試したり つくり直したりしながら、舟遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水に浮かべてみると前に進まなかったな。</li> <li>・帆が大きすぎたのかな。つくり直そう。</li> <li>・友達の舟で遊ぶのも楽しいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った事がある時は、必要に応じて友達に相談したり、全体で話し合ったりすることで解決方法を見付ける。</li> <li>・考えを共有したり、助言したりしやすいように、つくり方の似ているグループで班を作る。</li> <li>・つくった舟で遊べるようにプールを設置する。</li> </ul> <p>◇知③主①（活動・作品）</p>
9	<p><b>【舟づくりを振り返ろう。】</b></p> <p>○舟づくりを振り返り、気付いたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手づくりのおもちゃで遊べて楽しかった。</li> <li>・自分が考えた舟をつくれて嬉しかった。</li> <li>・何度も失敗したけど、あきらめずに頑張ってよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力したこと、嬉しかったことなどの視点を示して振り返りをするようにする。</li> </ul> <p>◇思②主②（ワークシート・発言・発表）</p>

5 本時の目標・展開（7/9）

つくった舟を水に浮かべ、動くかどうか友達のよさやアドバイスを取り入れながら、試したりつくり直したりして舟遊びを楽しむことができる。

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導入	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>ためしながら うごくふねをつくろう</p> </div> <p>○本時の約束、活動場所、時程を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に浮かべながら、つくることを伝える。</li> </ul>
展開	<p>○できた舟を水に浮かべて動かしてみながら、友達とアドバイスし合い、舟をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんうちわで扇いだら、もっと進むかな。</li> <li>・帆が大きすぎるとうまく浮かばないぞ。</li> <li>・プロペラはどうやって付けたらいいのかな。</li> <li>・輪ゴムを増やすと速く進むのかな。</li> <li>・風船がなかなか膨らまないのはなぜだろう。</li> <li>・空気入れを使うと、すぐに膨らんだよ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お助けコーナーに手本や材料、道具を設置する。</li> <li>・つくり方の似ているメンバーで班をつくり、比べたり、助言したりしやすくする。</li> <li>・つくった舟を浮かべて試す場（水場、ビニールプールなど）を用意する。</li> </ul> <p>◇思①（活動・発言・作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて相談タイムをとり、全体で話し合いながら解決方法を探す。</li> </ul>
まとめ	<p>○今日の活動を振り返り、次時への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の工夫を真似したら、動くようになった。</li> <li>・家にあるものでもつくってみたいな。</li> <li>・完成したら、友達と競争したいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したり、試したりしながら気付いたことや工夫したことについて考え、共有する。</li> <li>・舟づくりで頑張ったことを発表する。</li> </ul>

1 単元の目標

身近な材料の形を写すことを通して、押された形や色などの特徴を生かして、新しい形や色を発想しながらすすんで試したり工夫したりして作品づくりをすることができる。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①身近な材料で形を写して表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いている。 ②共用の用具・材料などに十分に慣れるとともに、手の感覚などを働かせ、イメージしたことをもとに表し方を工夫してつくっている。	①自分のイメージをもちながら、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。 ②自分たちの作品や写した形の造形的な面白さ、表したいこと、表し方などについて、感じたり考えたりしたことを言葉で表し、自分の見方や感じ方を広げている。	①つくりだす喜びを味わい、楽しく写したものの形や色から思い付いたことを表そうとしている。

3 ものづくり教育の視点

本単元では、児童が洗濯ばさみやプリンカップのような身の回りにある材料で、形を写す(スタンプ)遊びで形や色を表現し、自分で自身が作った作品を入れる作品バッグをデザインする単元である。

また、材料の形を写す活動を通して、偶然に生まれた形の重なりや連続性の中に、自分なりの楽しい形と色の世界をつくりだしていく喜びを味わうことができる単元である。

特に、写した形や色などの特徴を自分自身の作品の中で、比べたり生かしたりすることができることは、児童が友達と協働し意図的な試行錯誤を繰り返しながら、新しい形や色を発想・工夫することにもつながっている。しかも、その場ですぐに自分の写した形を確かめることができることは、楽しい体験となる。児童の発達の段階からしても、図画工作科であって十分に「ものづくり教育」の土台となると考えた。そして、お互いの作品を鑑賞し合い、友達の作品の工夫や自身との違いを見付けることで、形や色を工夫する面白さに気づき、ものをつくりだす時の「美しさ」感じ取る力としても大切であると考えた。

4 単元の指導計画

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
1	<b>【たからものバッグについて知ろう。】</b> ○「たからものバッグ」をデザインすることに意欲をもつ。 ・こんなバッグをつくりたいな。 ・どんな模様にしようかな。何を持ってこようかな。	・見通しがもてるように、素材のバッグや身の回りにある材料を見せる。 ・スタンプに関する絵本「やさいぺたぺたかくれんぼ」「やさいのおなか」を読み聞かせ、関心・意欲を高める。 ◇主①(観察・発言)
2	<b>【形を写す表し方について知ろう。】</b> ○スタンプの押し方のコツを知る。 ・スタンプは、しっかり押さないといけないんだね。 ・絵の具をつける量も気を付けないといけないな。 ○自分の手でスタンプをする。 ・絵の具を薄く付けると、手の線が見えるね。 ・絵の具をたくさん付けると、線が見えなくなった。 ○様々な材料でスタンプをする。 ・洗濯ばさみは、草のような形になるね。 ・野菜スタンプだと、どんな形になるのだろう。	・図画工作科専科教員の話聞き、スタンプの押し方に生かすようにする。 ・形を写し出すには、絵の具の量を調節して行うように伝える。 ・スタンプを押すということは、絵を描くとは違うことを伝える。 ・同じ材料でも向きを変えたり、力加減を変えたりすることで写る形の感じ

		<p>が変わることに気付けるように助言する。</p> <p>◇知②（観察・発言）</p>
3 本 時	<p><b>【いろいろな材料で形を写してみよう。】</b></p> <p>○写した形を組み合わせて、様々な形ができることに気付き、興味をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この形をたくさん押すとお花みたいになる。</li> </ul> <p>○写したものの形や色から、思い付いたことを表したり、表し方を工夫したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマンの形をならべて押して、原っぱにしてみたよ。</li> <li>・れんこんや洗濯ばさみを押して、まほうのとかげができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の種類シルエットクイズや、押し方を電子黒板で紹介し、児童がイメージを広げていくことができるようにする。</li> <li>・材料や用具の使い方、片付け方などの約束事を確認する。</li> <li>・児童が発見した形を電子黒板に写し、全体で共有することで活動への意欲をもてるようにする。</li> <li>・発想につまずいている児童には、友達の作品を鑑賞するように促す。</li> </ul> <p>◇知①思①（観察・発言）</p>
4 5	<p><b>【布バッグに形を写そう。】</b></p> <p>○形や色を組み合わせて、自分のイメージに合ったスタンプの材料や絵の具を選び、バッグに形を押す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お花畑にしたいな。</li> <li>・洗濯ばさみで雪の結晶にしよう。</li> </ul> <p>○作品に題名を付ける。</p> <p>○互いの作品を鑑賞し合い、表現のよさや面白さや、工夫したいところを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな材料でスタンプを押したのかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンプを押していく中で、自分で思い描いたイメージと異なっているもよいことを伝える。</li> <li>・前時に押した作品を参考にして、布バッグのデザインに生かすようにする。</li> </ul> <p>◇思①②（観察・作品）</p>

5 本時の目標・展開 (3/5)

様々なものを写すことで得た形や色を手掛かりにして、新たなイメージを発想して表していくことを楽しむ。

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
導 入	<p>○前時を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな材料で形を写してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形の種類シルエットクイズや、押し方を電子黒板で紹介し、児童がイメージを広げていくことができるようにする。</li> </ul>
展 開	<p>○グループで持ち寄った材料で、画用紙に写すことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こっちの面を使うと形の違うスタンプができるよ。</li> <li>・同じ野菜でも切り方で違う形ができるよ。</li> </ul> <p>○どの材料でどのような形ができるか、自分のお気に入りの模様をグループの中で紹介し合う。</p> <p>○他グループを鑑賞し、よいところを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蝶々の形がある。すごい。</li> </ul> <p>○写したものの形や色から、思い付いたことを表したり、表し方を工夫したりして、バッグのデザインイメージを膨らませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマンの形をならべて押して原っぱにしてみたよ。</li> <li>・れんこんや洗濯ばさみを押して、まほうのとかげができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や用具の使い方を確認する。</li> <li>・さまざまな形を楽しめるように材料をあらかじめ用意しておく。</li> <li>・同じスタンプを複数回重ねて押ししたり、他のスタンプと組み合わせたりすることで、新たな形ができることに気付かせる。</li> <li>・グループで1枚の大きな画用紙に、共同で押し、互いのスタンプの面白さや色の美しさを言葉で共有することができるようにする。</li> <li>・児童が発見した形を電子黒板に写し、全体で共有し、更なる活動への意欲をもてるようにする。</li> </ul> <p>◇知①思①（観察・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発想につまずいている児童には、周りの友人の表現を鑑賞するように促す。</li> </ul>
ま と め	<p>○今日の活動を振り返り、次時への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バッグに形を写すのが楽しみだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の作品のよさを伝えるように促す。</li> <li>・材料や用具の片付けについて説明し、協力して行うように促す。</li> </ul>

未来ものづくり科 地域・伝統ものづくり 第1学年3組26名

生活科「げんきにそだて わたしのはな

～いろいろなくさばなで たのしもう～」(20時間)

場所：1年3組

1 単元の目標 (生活科 内容(6)「自然や物を使った遊び」 (7)「動植物の飼育・栽培」)

植物を育てる活動を通して、植物が育つ場所や変化の様子に関心を持ち、植物も自分たちと同じ命をもっていることに気付くとともに、親しみをもって大切にすることができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①それぞれの植物の特徴や変化・成長の様子や植物にあった世話の仕方があることに気付き、大切に育てることができる。 ②植物に親しみを持ち、自分たちと同じように生命をもっていることや、植物の成長と共に自らも成長したことに気付いている。 ③植物にも色々な楽しみ方があることに気付いている。	①植物について関心をもって調べたり、実際に試したりして、植物の世話の仕方や楽しみ方を工夫している。 ②植物との関わりの中で気付いたことや感じたことを表現している。	①植物の世話を楽しもうとしている。 ②植物に心を寄せて繰り返し関わり、大切にしようとして働きかけている。 ③身近な植物に関心を持ち、植物のある生活を楽しむことで自らの生活をより豊かにしようとしている。

3 ものづくり教育の視点

本単元では、これまで大切に育ててきた自分のアサガオや藍などの身近な花や葉を利用して、たたき染めや押し花づくり、色水遊び、草木染などを行う。植物を大切に育てるだけで終わらせず、染めたり、リースづくりをしたりして様々な楽しみ方を体験することを通して、自然の面白さや不思議さに気付き、植物との生活の楽しさや、それらを利用して自らの力で新たな遊びやものをつくり出す喜びや楽しさを味わうことができる単元である。それらを地域の伝統工芸職人と関わって体験することは、更なるものづくりへの興味や、地域への愛着、関心も換気するものと考えている。

児童は、様々な植物で染める経験を重ねることにより、思うような模様を作るために試行錯誤を繰り返したり、植物や素材による染まりやすさの違いなどに着目して自分なりの見通しをもったりするようになる。その経験は「ものづくり教育」の試行錯誤しながらつくることの楽しさにつながる。また、自分が育てた植物や身近な草花を素材にして色をつくったり、染物をしたりすることで、自らの手で自らの生活をより豊かにできるという経験は、今後の生活の中でも児童が自ら身近な自然を生かしたものづくりを発想する力につながっていくと考える。

4 単元の指導計画

	○主な学習活動 ・児童の反応	◇評価 ・留意点
1	<b>【どの花を育てたいかな。】</b> ○育てたい花を決める。 ・2年生からもらったアサガオを育てたいな。	・植物の栽培に関する紙芝居や絵本の読み聞かせをする。 ◇主①(発言)
2	<b>【種をまこう。】</b> ○種の観察を行う。 ○撒き方を確認し、種まきをする。 ・アサガオの種はスイカみたいな形。石みたい。	・他の植物の種と比べ、植物によって育て方が違うことに気付くことができるようにする。 ◇知①(発言・行動・カード)
3 4 5 6 7	<b>【じっくり見よう・世話をしよう。】</b> ○成長の様子に関心をもって働きかけ表現する。 ・形が違う葉っぱが出てきた。毛が生えているよ。 ・蕾ができた。くるくるしている。いつ咲くかな。	・変わってきた部分に着目し、成長に合わせた世話や関わり方を考えることができるようにする。 ◇思①主②(発言・行動・カード) ◇知①思②(発言・カード)
8 9	<b>【アサガオの花で楽しもう。】</b> ○押し花、たたき(こすり)染めを楽しむ。 ・お花の形が紙に写って面白い。 ・大きなアサガオの絵ができたよ。 ・葉っぱよりお花の方がよく色が出る。 ○色水で飾りづくりを行う。	・押し花やたたき(こすり)染めの方法を例示し、いつでも見返せるように黒板に掲示しておく。 ・和紙や画用紙、折り紙などを用意し、紙

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな模様ができて、楽しい。</li> <li>・紙の種類によって模様が変わるよ。</li> <li>・違う模様にするにはどうしたらいいかな。</li> <li>・この色水を使って絵をかきたいな。</li> </ul>	<p>の種類による染みこみ具合の違いを楽しみながら行えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図画工作科「ちょきちょきかざり」を思い出し、折り方や切り方を工夫するように促す。</li> </ul> <p>◇知③思①主③（カード・発言・行動）</p>
11	○花びら染めをする。	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模様も付けよう。どんな模様にしようかな</li> <li>・なかなか染まらない。時間を増やそう。</li> </ul>	
13	<p><b>【いろいろな草花で楽しもう。】</b></p> <p>○簡単な藍染体験を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の伝統工芸職人（高橋染工場）の方に教えて頂き、伝統的な藍染めについて知る。</li> <li>・藍の生葉染めやマリーゴールドの草木染、秋以降は教室前の桜の落ち葉で落ち葉染など様々な植物での活動を繰り返し、「あきとなかよし」にも関連させていく。</li> </ul> <p>◇知③思①主③（カード・発言・行動）</p>
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柄の付け方がいろいろあって面白い。</li> </ul>	
本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンカチが面白い模様になったよ。</li> </ul>	
15	○様々な植物（藍、マリーゴールド他）でたたき染めや花びら染め、生葉染などを行う。	
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱの緑の模様ができて面白い。</li> <li>・もっといろいろな色があるといいな。</li> <li>・葉っぱからできた色と染めた色が違う。</li> <li>・他の植物でもやってみたいな。</li> </ul>	
17		
18	<p><b>【種をとろう・最後まで生かそう】</b></p> <p>○種ができる様子を観察し、記録する。</p>	<p>◇知②（発言・カード）</p> <p>◇思②（発言・行動・カード）</p> <p>◇主③（作品・カード）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の種をどうしたいか、考えさせ、生命が繰り返していくことができるようにする。</li> </ul>
19	<p>○種の数进行数える。</p> <p>○最後の蔓でリースをつくる。</p>	
20	<p><b>【みつけたひみつをつたえよう】</b></p> <p>○これまでの栽培の様子を振り返る。</p> <p>○観察カードをまとめて、「アサガオ（藍、マリーゴールド）ブック」をつくる。</p>	<p>◇知②思②（発言・作品）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のしたい方法で表現することができるように様々な表現方法を提示する。</li> </ul>

5 本時の目標・展開（14/20）

地域の伝統工芸職人（高橋染工場）の方に教えて頂き、藍染めを体験することを通して、草花の新たな楽しみ方や自然の不思議に気付く。

	○主な学習活動 ・ 児童の反応	◇評価 ・ 留意点
導入	<p>○前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の方に教えてもらって藍染体験をしよう</span></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までにハンカチを絞り、染めるところまでしておく。</li> <li>・絞りの段階では、どう絞ったらどんな模様になるか見本を用意し、予測させながら模様付けを行うようにする。</li> </ul>
展開	<p>○藍染め（後半）を行う。</p> <p>○染液から出し、1回水洗いをする。</p> <p>○お酢を溶かした水に漬けて色止めをする。</p> <p>○漬けている間に、高橋さんの仕事や藍染めについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちの染めたのと色が違う。</li> <li>・藍染めした物は防虫、防火にも効くなんてすごい。</li> </ul> <p>○絞りを取る。</p> <p>○一度水洗いをして、干す。</p> <p>○片付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水場が近くにある場所で行う。</li> <li>・保護者のボランティアを募り、作業が効率よく行えるようにする。</li> <li>・地域の人の仕事に触れ、地域や伝統工芸に関心や親しみをもてるようにする。</li> </ul> <p>◇主③（発言・行動・カード）</p>
まとめ	<p>○感想や次にしてみたいことなどを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開くまでどんな模様か分からなくて面白かった。</li> <li>・今度は違う染め物もしてみたい。</li> <li>・今育てているタデアイを大切に育てたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物への関心をより高められるようにする。</li> </ul>